

	静岡大学 工学分野
学部等の教育研究 組織の名称	情報学部（第1年次:200） 工学部（第1年次:535） 大学院情報学研究科（M:60） 大学院工学研究科（M:262） 大学院自然科学系教育部（D:50） 電子工学研究所
沿 革	大正11（1922）年 浜松高等工業学校創立 昭和19（1944）年 浜松工業専門学校に改称 昭和24（1949）年 新制静岡大学工学部設置 昭和39（1964）年 大学院工学研究科修士課程設置 昭和40（1965）年 電子工学研究所設置 昭和51（1976）年 大学院電子科学研究科博士課程設置 平成7（1995）年 情報学部設置 平成8（1996）年 大学院理工学研究科博士前期課程・博士後期課程設置 （大学院工学研究科は学生募集を停止） 平成12（2000）年 大学院情報学研究科修士課程設置 平成18（2006）年 大学院工学研究科修士課程設置 平成18（2006）年 大学院自然科学系教育部博士課程設置（大学院電子科学研究科及び大学院理工学研究科は学生募集を停止） 平成25（2013）年 電子工学研究所が共同利用・共同研究拠点に認定
設置目的等	大正11年、静岡大学工学部の母体である浜松高等工業学校は、高等教育機関の拡張を目的として設置された。 昭和19年、浜松高等工業学校は浜松工業専門学校に改称された。 新制国立大学の発足時には、浜松工業専門学校は、静岡大学工学部として承継された。 昭和39年、工学技術の深奥を究め高等技術者の育成をはかり、もって我が国工業の飛躍的發展に寄与しようという目的から、工学研究科修士課程が設置された。 昭和40年、電子工学に関する学理及びその応用の研究を目的として電子工学研究所が設置された。 昭和51年、高度の研究能力を有する者を養成するとともに、電子科学に関する研究領域の拡充、深化及び高度の学際領域における研究の

	<p>発展向上とその総合性を図ることを目的として、電子科学研究科博士課程（後期3年のみの課程）が設置された。</p> <p>平成7年、情報科学と情報社会学を有機的に連関させ、「情報学」と呼びうる新たな教育・研究分野を構築し、高度情報社会をリードしうる人材を養成することを目的として情報学部が設置された。</p> <p>平成8年、理学分野の深遠かつ広範囲にわたる科学の法則・原理と工学分野の精密かつ高度な先端技術を融合し、先駆的で豊かな発想を誘出させ、学際的で高度な教育と研究を行い、将来の課題に対処し得る人材を育成することを目的に、理学研究科修士課程及び工学研究科修士課程を改組し、理工学研究科博士課程（博士前期課程・博士後期課程）が設置された。</p> <p>平成12年、情報学の学問的高度化を推進するとともに、高度情報社会が求める専門的な職業人を養成することを目的として情報学研究科修士課程が設置された。</p> <p>平成18年、時代に即応した幅広い素養と特化した専門知識及び国際性豊かな知識を有する先端技術者及び研究者の養成を目的として、電子科学研究科博士課程及び理工学研究科博士後期課程を改組し、自然科学系教育部博士課程（後期3年のみの課程）が設置された。</p> <p>平成18年、理工学研究科博士後期課程を自然科学系教育部に再編したことに伴う理工学研究科博士前期課程の改組により、工学研究科修士課程が設置された。</p>
<p>強みや特色、社会的な役割</p>	<p>静岡大学においては、「自由啓発・未来創成」の精神を尊び、人類の豊かな未来と学術の発展への貢献の理念のもと、総合大学の特性を生かして、専門分野を越えた質の高い教育と創造的な研究を推進し、社会とともに歩む存在感のある大学を目指している。工学分野では、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <p>○ 宇宙・ロボティクス・光計測、材料・デバイス、環境・エネルギー、バイオ・医工学、システム工学、計算機システム分野等に係る専門的知識、問題解決能力、国際性を身につけ、多様化する情報社会でリーダーシップを発揮し、独創性に富んだ科学技術を創造する高度専門職業人の育成の役割を果たす。</p> <p>ナノビジョン工学、光・ナノ物質機能、情報科学、環境・エネルギー工学分野などの専門領域に関する深い知識と時代に対応した幅広い素養を有し、地域社会や国際社会の期待に応えられる高度先端技術者及び研究者の人材育成の役割を充実する。</p> <p>○ 「マニフェストに基づく実践的IT人材の育成プログラム」、「東</p>

南アジアの学生の秋季入学制度」、修士課程における副専攻制及び学部・修士課程の6年間一貫教育などの特色ある教育や国際的通用性のある認定プログラムを積極的に推進してきた実績を生かし、広い視野と専門応用能力を修得し、グローバルに活躍できる工学系人材を育成する学部・大学院教育を目指して不断の改善・充実を図る。

- 応用光学、電気電子計測、材料・デバイス、応用化学・化学工学、環境・エネルギー工学、計算機システム・ネットワーク分野等の高い研究実績を生かし、工学の諸分野の先端的な研究を推進する。
- ライフフォトイノベーションの推進に向けて、世界最高性能を有するイメージングデバイスを開発し、国内外で活発な共同研究を実施するとともに、その先端研究施設・設備を広く産官学における研究者の共同利用に供し、その社会的役割を果たす。
- 教員一人当たりの特許取得数の高い実績を生かして、今後とも我が国の産業を支える実践的な研究等の取組を一層推進するとともに、静岡県内を中心とした企業との共同研究や、地元や近隣地域の産業界・研究機関・自治体との連携事業を通じて、産業振興や地域振興に貢献する。
- 「制御系組込みシステムアーキテクト養成プログラム」、「はままつデジタル・マイスター養成プログラム」等の実績を生かし、地元企業、自治体と連携・協力して、地域の特性、産業界のニーズに対応した人材養成のための社会人の学び直しを推進する。
- 小中高生を対象とする「ものづくり教育はままつ10年構想」事業等多様なプログラムの実績を生かして、地域における理数系人材の育成に寄与する。